

『斑点米の原因！カメムシに注意』

1. 早生品種と被害について

あきたこまちやコシヒカリ等の早生品種では、早い所ではもう稲刈りが始まる時期です。中には糊熟期を過ぎお米の形になっているが、まだまだ籾の中で柔らかい状態の所もあります。この時期がカメムシ被害に遭う時期です。カメムシはこの柔らかいお米の汁を吸い、玄米に斑点米という症状を発生させます。(図1、2)

斑点米は玄米に黒いシミが出来た症状です。精米しても残り見栄えが悪くなり、農産物検査では等級が下がる原因になります。まだ収穫まで日数がある場合は下記農薬を参考にカメムシ防除を行いましょう。

2. 中・晩生品種について

カメムシは9月下旬ぐらいから涼しくなると山へ帰って行きますが、近年は10月でも気温が高く山へ帰らず田んぼの中でカメムシを見かけることも多いので、きぬむすめやヒノヒカリの中生品種、朝日・アケボノの晩生品種でも気を抜かずに防除を行いましょう。



図1：吸汁するカメムシ



図2：カメムシによる斑点米

出穂後も使用できるカメムシ類に登録のある農薬

	商品名	10a当り使用量	使用時期	使用回数	使用方法
殺虫殺菌剤	ハスラーRX粉剤DL	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカー粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内	散布
	トライトレボン粉剤DL	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカーフロアブル	1000倍60~150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシントレバリダ水和剤	500倍60~150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
殺虫剤	トレボン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内	散布
	スタークル粉剤DL・アルバリン粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	3回以内	散布
	トレボン乳剤	2000倍60~150%	収穫14日前まで	3回以内	散布
	スタークル顆粒水溶剤・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍60~150%	収穫7日前まで	3回以内	散布
	スタークル粒剤・アルバリン粒剤	3kg	収穫7日前まで	3回以内	散布

※農薬の在庫は、各支店・資材店へお問い合わせ下さい。